

岡山理科大学附属高等学校 通信制課程の特色化・魅力化関係

*期待される社会的役割等の再定義

「ひとりひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し、技術者として社会人として社会に貢献できる人材を養成する」という建学の理念のもと、通信制課程の「好きを究める」学びの過程において、実践的な判断力や行動力、コミュニケーション能力を高めるとともに、生徒一人ひとりに内在する能力を引き出し、社会に貢献できる人材になるように導く。

①高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針、

本校、通信制課程の学びは「好き」を見つけ、「好き」を究めることにより、自分の進路の第一志望を見つけ、それを実現することを目指すとともに、次の3つの校訓がめざす能力や態度を身につけます。

・ 3つの校訓

自主・・・自ら学ぶ力や行動力、やり遂げる力を育てます。

友愛・・・自分と他者の違いを理解し、人権や生命を尊重する気持ちを育てます。

努力・・・努力を積み重ねることの大切さを学び、自分の人生を切り開く力を育てます。

②教育課程の編成及び実施に関する方針

幅広い知識と教養を身につけるとともに健やかな心身を養い、生徒一人ひとりの個性や資質・能力に応じた、多様な将来の進路を実現できるように教育課程を編成・実施します。

・ 基礎科目の履修

国際化していく社会において、自ら問題を解決することができるように、基礎的な知識や能力を身につけます

・ ICT機器の活用

高度に情報化していく社会に対応できるようICT環境を整備するとともに各教科・科目で活用した教育活動を実施し、教育の方法と内容の向上を図ります。

・ e-NIE教育

社会情勢に関心を持って考え、社会に貢献できる人材を育てます。

・ リモート留学

英語の能力を高めることで、国際社会に関心を持ち、国内外での文化的交流に積極的にかかわる姿勢を育てます。

・ 系統別活動

課題発見力や課題探究力を育成し、教科横断的な学びを充実させます。

・ 特別な配慮を必要とする生徒への対応

保護者と連携して、生徒個々の状態に応じた指導内容や指導方法を工夫検討し、学校としてできる範囲の適切な指導や支援を行ないます。

・ レポート添削

丁寧で、きめ細やかなレポート添削を行なうことにより能力を伸ばし学力の定着を目指します。

③入学者の受入れに関する方針（アドミSSION）

岡山理科大学附属高等学校通信制課程は、学術を社会に普及するために開かれた教育の場として、教育の機会均等を図り、生涯学習社会の実現に向け次に掲げる者を積極的に受け入れるものとする。

1. 本校の教育理念を深く理解し、賛同のできる者
2. 他者の人格を認め、人権や生命を尊重することのできる者
3. 高い勉学意欲があり、向上心がある者
4. 主体性がありねばり強く自立学習に取り組める者
5. 他者と協働して取り組むことができる協調性及び自主性を身につけている者
6. 社会や学校のルールやマナーを守り他者を思いやることができる者

通信教育 実施計画

1

学科，授業形態，定員数

普通科・単位制，前後期制 定員 600 人

2

募集区域

岡山・兵庫・広島・香川・愛媛・徳島・和歌山・群馬県

中国・韓国・スリランカ・パキスタン・ネパール・ベトナム・フィリピン

・マレーシア・台湾

3

教職員組織

専任教諭 7 人，非常勤講師 6 人，事務職 1 人

4

生徒数（令和 7 年 5 月 1 日現在）

197 名

内

新入学 77 名，休学 3 名

令和 6 年度卒業生 33 名

内

大学進学 18 名，専門学校進学 9 名，就職 1 名，その他（アルバイト等） 5 名

5

施設 及び 設備に ついて

通信制課程 校舎、学園施設、全日制課程 の 施設 を 使用

6

開講科目一覧

7

集中スクーリング日程及びレポート等提出日

8

各教科 シラバス

2025年度 履修計画票

入学前の学校(

)中・高 (全・定・通

科)

____月 ____日 ____年次

新入・編入・転入・転籍 (転籍時 担任:

)

生徒番号		クラス		氏 名										
教科	科 目	新旧	単位	S 数	R 数	前 籍 校	本 校	2025年度	2026年度	2027年度	備考			
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	備考
国語	●現代の国語	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	●言語文化	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	国語表現 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	国語表現 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	論理国語 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	論理国語 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	文学国語 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	文学国語 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	古典探究 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	古典探究 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
★国語総合	旧	4												
国語表現	旧	3												
現代文B	旧	4												
地理歴史	●地理総合	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	地理探究 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	地理探究 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	●歴史総合	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	日本史探究 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	日本史探究 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	世界史探究 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	世界史探究 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
	★世界史B	旧	4											
	世界史A	旧	2											
☆日本史B	旧	4												
日本史A	旧	2												
☆地 理 B	旧	4												
地 理 A	旧	2												
公民	●公 共	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	倫 理	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	政治・経済	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	★現代社会	旧	2											
	☆倫 理	旧	2											
政治・経済	旧	2												
数学	※数Ⅰ入門 前	設	3	1	3			1	1	1	1			
	数Ⅰ入門 後	設	3	1	3			1	1	1	1			
	●数学Ⅰ 前	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	数学Ⅰ 後	新	2	2(1)	6			2	2	2	2			
	数学Ⅱ 前	新	4	2(1)	6			2	2	2	2			
数学Ⅱ 後	新	4	2(1)	6			2	2	2	2				
★数学A	新	2	2(1)	6			2	2	2	2				
★数学Ⅰ	旧	3												
理科	○★科学と人間生活	新	2	8(4)	6			2	2	2	2	2	2	
	○★物理基礎 前	新	2	4(2)	3			1	1	1	1			
	物理基礎 後	新	2	4(2)	3			1	1	1	1			
	○★化学基礎 前	新	2	4(2)	3			1	1	1	1			
	化学基礎 後	新	2	4(2)	3			1	1	1	1			
○★生物基礎	新	2	8(4)	6			2	2	2	2	2	2		
履修単位計 修得単位計 累積修得単位計 特別活動 1年目前期 1年目後期 2年目前期 2年目後期 3年目前期 3年目後期														
●: 新法定必修科目 ○: 新選択必修科目 ※: 学校設定科目 ★: 旧法定必修科目 ☆: 旧選択必修科目 ☆ 地理歴史は「地理総合」「歴史総合」、公民は「公共」必修。 ☆ 理科は「科学と人間生活」を含む2科目、または基礎3科目で完成。 ☆ 総学βはαと同時に履修の場合のみ。														

2025年度 前期

2025年4月13日

<行事>

行事	日程	行事	日程	行事	日程
集中スクーリング および テスト	7/26(土)～ 8/3(日)	補習 再追テスト	8/5(火) 8/6(水)	履修相談期間	9/2(火)～15(月)

<日曜学習会> (以下の日曜日9:30～12:30に、学校の教室を自習室として開放します。教科担当に質問も可能です。)

4/20, 5/11, 5/18, 5/25, 6/1, 6/8, 6/15, 6/22, 6/29, 7/6, 7/13

<申し込みの必要な行事>

模擬試験	日程	対象	金額	申込締切
大学入学共通テスト模試・6月	5/27, 28(火・水)	3年相当	¥4,400	4/21(月)
総合学力記述模試・7月	7/1, 2(火・水)	3年相当	¥4,300	5/26(月)
総合学力テスト・7月記述	7/1(火)	2年相当	¥3,450	5/26(月)
第1回ベネッセ駿台 大学入学共通テスト模試	9/16, 17(火・水)	3年相当	¥4,400	7/28(月)
第2回ベネッセ駿台 記述模試	10/14, 15(火・水)	3年相当	¥4,300	9/15(月)
第3回ベネッセ駿台 大学入学共通テスト模試	11/4, 5(火・水)	3年相当	¥4,400	10/6(月)
総合学力テスト・11月記述	11/4, 5(火・水)	2年相当	¥3,700	10/6(月)
総合学力テスト・11月記述	11/4(火)	1年相当	¥3,350	10/6(月)
総合学力テスト・1月記述	1/20, 21(火・水)	2年相当	¥3,700	12/8(月)
総合学力テスト・1月記述	1/20(火)	1年相当	¥3,350	12/8(月)
大学入学共通テスト模試・2月マーク	2/10, 11(火・水)	2年相当	¥3,800	1/13(火)

※申し込みは、申込書(事務室前のレターケース)に記入してお金を添えて事務室へ。(はじめての人は、担任に申込方法を聞きましょう。)

<レポート> 標準提出期限までに提出するようにしましょう(各日の16時30分まで)

標準提出期限	5月7日 (水)	5月21日 (水)	6月4日 (水)	6月18日 (水)	7月2日 (水)	7月16日 (水)	7月23日 (水)
現代の国語 論理国語 地理総合 日本史探究 倫理 数学I 科学と人間生活 英語CI	1回目	2回目	3回目	5月7日 5月21日 6月4日 分の最終提出期限	4回目	5回目 6回目	6月18日 7月2日 7月16日 分の最終提出期限
国語表現 文学国語 地理探究 世界史探究 数学I 数学A 生物基礎 家庭総合							すべての最終合格期限
数学I入門 化学基礎 美術 英語CI	1回目		2回目		3回目		
物理基礎 保健 書道							
情報I 体育2		1回目		2回目			
情報演習							
体育1 総探				1回目			
体育3							

<視聴報告書> 標準提出期限までに提出するようにしましょう(各日の16時30分まで)

標準提出期限	5月7日 (水)	5月21日 (水)	6月4日 (水)	6月18日 (水)	7月2日 (水)	7月16日 (水)	7月23日 (水)
現代の国語 論理国語 地理総合 日本史探究 倫理 数学I 情報I			5月7日 5月21日 6月4日 分の最終提出期限	1回目		6月18日 7月2日 7月16日 分の最終提出期限	すべての最終合格期限
国語表現 文学国語 地理探究 世界史探究 数学I 数学A							
物理基礎 美術 英語CI		1回目		2回目			
化学基礎 書道 家庭総合							
体育1	1回目		2回目		3回目		
体育3							
体育2	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	
科学と人間生活 生物基礎 英語CI	1回目	2回目		3回目		4回目	

【注意】レポート・視聴報告書について

最終提出期限までに提出できなかった場合、最終合格期限までに合格できなかった場合、いずれの場合も当該科目は単位不認定となります

<@Home型 体育スクーリング> (以下の日曜日10:00～11:50に実施します。)

体育1	6月22日	体育2	5月18日 および 6月15日	体育3	5月11日
-----	-------	-----	-----------------	-----	-------

両日とも出席しなければいけません

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「国語」科の目標

「生涯にわたる社会生活に必要な国語について、言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を用い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。また、言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもてるようにする。」

・「現代の国語」の目標

「実社会に必要な技能や論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者に自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して社会に関わろうとする態度を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

「生徒のよい点や進歩の状況などを積極的に評価する。また、科目の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材などのまとまりを見通しながら学習の過程や成果を3観点、評価するものとする。」

・シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	ルリボシカミキリの青、水の東西、美しさの発見 真の自立とは などから要点解説
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	こそそめスープ ルリボシカミキリの青
	2	未来をつくる想像力 水の東西
	3	スキマが育む都市の緑と生命のつながり 無彩の色
	4	鍋洗いの日々 森で染める人 真夏のひしこ漁
	5	美しさの発見 りんごのほっぺ
	6	不思議な拍手 真の自立とは

・「国語表現」の目標

「国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

「文章を批評し、考えを深めるだけでなく、文章の構成、展開、要旨などを的確にとらえることのできる論理性を評価する。また、文章を読んで、書き手の意図や、人物、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことを通して、語彙を豊かにしたり、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てることができるかどうかを3観点、評価・認定の基準とする。」

・ シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	情報探し、情報収集 などについて要点解説
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
後	1	情報のまとめかた、構成の考え方、スピーチのしかた などについて要点解説
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・ シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	本に当たる ―情報探しの一方法― 情報収集の技術
	2	医療という現場 聞き取り取材による情報収集
	3	一人で対する未知の世界 本のおもしろさを紹介する
後	1	伝える力 情報を整理して文章にまとめる
	2	『枕草子』に参加してみる 現代に生きる古典の表現
	3	広告とレトリック メモをもとにしたスピーチ
	4	情報を整理して口頭で伝える 主張の観点と根拠を考える
	5	「一・五」の関わり 構成を考える
	6	時分の花と非成熟社会 「考え方」を考える

・「現代文B」の目標

「近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって、国語の向上を図り人生を豊かにする態度を育てる。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

「文章を批評し、考えを深めるだけでなく、文章の構成、展開、要旨などを的確にとらえることのできる論理性を評価する。また、文章を読んで、書き手の意図や、人物、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わうことを通して、語彙を豊かにしたり、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てることができるかどうかを3観点、評価・認定の基準とする。」

・シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	生命とは何か、山椒魚、思考の肺活量 などから要点解説
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
後	1	こころ、山月記、もう一つの知性、ホンモノのおカネの作り方 などから要点解説
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	こそめスープ さくらさくらさくら
	2	みどりのゆび ナイン
	3	生命とは何か 「ふしぎ」ということ
	4	一つのメルヘン I was born
	5	山椒魚
	6	思考の肺活量 安心について
後	1	こころ
	2	山月記 カンガルー日和
	3	物語の外から カフェの開店準備
	4	永訣の朝 春雷【俳句】
	5	言葉は世界を切り分ける もう一つの知性
	6	ホンモノのおカネの作り方 未来のありか

・「言語文化」の目標

「言葉による見方・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、言語活動を通して、他者に自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。また、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して社会に関わろうとする態度を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

「我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解するとともに、古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文法や、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解できるかどうかを3観点、評価・認定の基準とする。」

・ シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	とんかつ、羅生門、夢十夜、枕草子、訓読の基本 などから要点解説
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・ シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
後	1	さくらさくらさくら 「美しい」ということ とんかつ 雨漏りの音
	2	柳あおめる 【短歌】 雪の深さを 【俳句】 冬が来た 少年の日 I was born
	3	羅生門 夢十夜 デューク
	4	徒然草 枕草子 折々のうた
	5	伊勢物語 平家物語 奥の細道
	6	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

数学科の目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成することを目指す。

・数学入門の目標

高等学校の数学を学ぶ前の準備として、小学校の算数・中学校の数学で学んだ計算の基礎を整理・復習し、高校の数学への基礎を固める。

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」

評価にあたっての基準：「レポート、スクーリング、テストによる総合評価」

・シラバス（スクーリング）

期	面接回数	学習内容
前	1	レポートの解説と復習 正負の数の計算、分数の計算、文字式、単項式・多項式の計算
後	1	レポートの解説と復習 式の展開・因数分解、平方根の計算、1次方程式、連立方程式、2次方程式

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	正負の数の計算 および 公倍数・公約数
	2	分数の計算 および 文字式
	3	単項式の計算 および 多項式の計算
後	1	式の展開 および 式の因数分解
	2	平方根の計算 および 1次方程式
	3	連立方程式 および 2次方程式

・数学Ⅰの目標

- (1) 数と式，図形と計量，2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」

評価にあたっての基準：「レポート、スクーリング、テストによる総合評価」

・シラバス（スクーリング）

期	面接回数	学習内容
前	1	レポートの解説と復習 第2章 2次関数
	2	視聴報告書（減免課題） 第1章 数と式 より出題
後	1	レポートの解説と復習 第3章三角比 第4章データの分析 第5章集合と論証
	2	視聴報告書（減免課題） 第3章 三角比 より出題

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	第1章 数と式 第1節 文字と式
	2	第1章 数と式 第2節 実数
	3	第1章 数と式 第3節 方程式と不等式
	4	第2章 2次関数 第1節 2次関数とそのグラフ
	5	第2章 2次関数 第2節 2次関数の値の変化(1)
	6	第2章 2次関数 第2節 2次関数の値の変化(2)
後	1	第3章 三角比 第1節 鋭角の三角比(1)
	2	第3章 三角比 第1節 鋭角の三角比(2)
	3	第3章 三角比 第2節 三角比の応用(1)
	4	第3章 三角比 第2節 三角比の応用(2)
	5	第4章 データの分析 第1節 データの分析
	6	第5章 集合と論証 第1節 集合と論証

・数学Ⅱの目標

- (1) いろいろな式，図形と方程式，指数関数・対数関数，三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲や式の性質に着目し，等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力，座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し，方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり，図形の性質を論理的に考察したりする力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力，関数の局所的な変化に着目し，事象を数学的に考察したり，問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」

評価にあたっての基準：「レポート、スクーリング、テストによる総合評価」

・シラバス（スクーリング）

期	面接回数	学習内容
前	1	レポートの解説と復習 第1章 方程式・式と証明 第2章 図形と方程式 および 第3章 三角関数（前）
	2	視聴報告書（減免課題） 第2章 図形と方程式 より出題
後	1	レポートの解説と復習 第3章 三角関数（後） 第4章 指数関数と対数関数 および 第5章 微分と積分
	2	視聴報告書（減免課題） 第5章 指数関数と対数関数 より出題

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	第1章 方程式・式と証明 第1節 整式・分数式の計算
	2	第1章 方程式・式と証明 第2節 2次方程式
	3	第1章 方程式・式と証明 第3節 高次方程式 および 4節 式と証明
	4	第2章 図形と方程式 第1節 座標と直線の方程式
	5	第2章 図形と方程式 第2節 円の方程式 および 第3節 不等式の表す領域
	6	第3章 三角関数 第1節 三角関数
後	1	第3章 三角関数 第2節 加法定理
	2	第4章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数
	3	第4章 指数関数と対数関数 第2節 対数関数
	4	第5章 微分と積分 第1節 微分係数と導関数
	5	第5章 微分と積分 第2節 導関数の応用
	6	第5章 微分と積分 第3節 積分

・数学Aの目標

- (1) 図形の性質，場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と人間の活動の関係について認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」

評価にあたっての基準：「レポート、スクーリング、テストによる総合評価」

・シラバス（スクーリング）

期	面接回数	学習内容
前	1	レポートの解説と復習 第1章 場合の数と確率 および 第2章 図形の性質
	2	視聴報告書（減免課題） 第1章 場合の数と確率 より出題

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数
	2	第1章 場合の数と確率 第1節 確率 ①～④
	3	第1章 場合の数と確率 第1節 確率 ⑤～⑧
	4	第2章 図形の性質 第1節 平面図形の基礎
	5	第2章 図形の性質 第2節 三角形の性質
	6	第2章 図形の性質 第3節 円の性質 および 第4節 空間図形

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「英語」科の目標

「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと・読むこと・話すこと・書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成すること」

・「英語コミュニケーションⅠ」の目標

「中学校における学習の確実な定着を図りながら、「聞くこと」、「話すこと〔やり取り〕」、「話すこと〔発表〕」、「読むこと」、「書くこと」の五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、五つの領域の総合的な指導を行う。特に、聞いたり読んだりしたことの概要や要点を目的に応じて捉えたり、基本的な語句や文を使って情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになること」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的学習に取り組む態度」

評価にあたっての基準：「レポート、スクーリング、テストによる総合評価」

・シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	レポートの解説と復習 Pre-Lesson 1・2 Lesson 1 音読練習
	2	レポートの解説と復習 Lesson 2・3 音読練習
	3	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
	4	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
後	1	レポートの解説と復習 Lesson 4～6 音読練習
	2	レポートの解説と復習 Lesson 7～9 音読練習
	3	レポートの解説と復習 Lesson 10 音読練習 テスト対策 文法問題中心
	4	テスト対策 本文問題中心
	5	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

	6	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題
	7	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題
	8	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
前	1	Pre-Lesson 1・2 be動詞、一般動詞
	2	Lesson 1 過去形 Lesson 2 進行形：〈be動詞＋動詞の-ing形〉
	3	Lesson 3 助動詞：can, will
後	1	Lesson 4 to不定詞：〈to＋動詞の原形〉 Lesson 5 動名詞：〈動詞の-ing形〉
	2	Lesson 6 受け身：〈be動詞＋過去分詞〉
	3	Lesson 7 比較表現：〈-er〉 〈the -est〉 〈as＋原級＋as〉
	4	Lesson 8 現在完了形：〈have [has]＋過去分詞〉
	5	Lesson 9 名詞を後ろから説明する分詞
	6	Lesson 10 関係代名詞：who, which

・「英語コミュニケーションⅡ」の目標

「聞くこと」、「話すこと[やり取り]」、「話すこと[発表]」、「読むこと」、「書くこと」の五つの領域別の言語活動及び複数の領域を結び付けた統合的な言語活動を通して、五つの領域の総合的な指導を発展的に行う。特に、聞いたり読んだりしたことの概要や要点・詳細を目的に応じて捉えたり、多様な語句や文を使って情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話したり書いたりして伝える又は伝え合うことなどができるようになること」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的学習に取り組む態度」

評価にあたっての基準：「レポート、スクーリング、テストによる総合評価」

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	レポート1～3の解説と復習 音読練習
	2	レポート4～6の解説と復習 音読練習
	3	テスト対策1 文法問題中心
	4	テスト対策2 本文問題中心
	5	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
	6	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
	7	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
	8	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題
後	1	レポート7～9の解説と復習 音読練習
	2	レポート10、reading 1・2の解説と復習 音読練習
	3	テスト対策1 文法問題中心
	4	テスト対策2 本文問題中心
	5	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

	6	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題
	7	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題
	8	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前	1	Lesson 1 比較表現：more, the most
	2	Lesson 2 関係代名詞：what 動名詞〈動詞の-ing形〉、現在完了形〈have[has]+過去分詞〉
	3	Lesson 3 関係疑問文 関係代名詞 that
	4	Lesson 4 名詞を後ろから説明する分詞 基本文形、1つのまとまりで意味を表わす〈take on…他〉
	5	Lesson 5 to不定詞を含む表現 後ろから説明する方法、動詞の形と「時」の関係
	6	Lesson 6 動詞の目的語になるif節、 動詞のいろいろ、名詞・副詞の働きをする不定詞
後	1	Lesson 7 知覚動詞 not only … but also～、現在完了形のさまざまな用法、名詞を後ろから説明する分詞と関係代名詞
	2	Lesson 8 関係副詞：where, when 同格のthat、現在完了形の受け身
	3	Lesson 9 使役動詞 受け身、関係代名詞 that、助動詞 can, should
	4	Lesson 10 分詞構文 接続詞 although, because、進行形〈be動詞+動詞の-ing形〉
	5	Reading 1 Mujina
	6	Reading 2 Olivia

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

理科の目標

「自然現象や身のまわりの科学に気づき、触れることで、科学的に探究するために必要な観察力や思考力を身につける。」

・科学と人間生活の目標

「自然や科学技術と人間生活の関りについて理解を深め、科学的に探究するための観察力や思考力を身につけるようにする。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

- ①自然現象や身のまわりの科学に注目し理解を深め、自分の言葉で事物・事象を説明できること
- ②期限内にレポート・視聴報告書に取り組み、その内容について成果がみられること
- ③スクーリングに参加し、課題に対して真摯に取り組む姿勢がみられること
- ④観察・実験を行う際には周囲に気を配り、目的意識をもって取り組むこと
- ⑤上記の基準をもとに3観点で総合的に評価する

・シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前・後	1	血糖濃度を調節するしくみについて
	2	金属の性質とその再利用について プラスチックの性質とその再利用について
	3	目に見える光と色の見え方について
	4	太陽が地球環境や人間生活に与える影響について
	5	視聴報告書（減免課題） さまざまな微生物とその利用について
	6	視聴報告書（減免課題） 衣料と食品について
	7	視聴報告書（減免課題） エネルギーの利用と私たちの暮らしについて
	8	視聴報告書（減免課題） 身近な自然景観の成り立ちについて

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前・後	1	微生物とその利用について
	2	人の生命現象について
	3	材料とその再利用について 衣料と食品について
	4	光の性質とその利用について 熱の性質とその利用について
	5	太陽と地球について
	6	自然景観と自然災害について

・物理基礎の目標

「物体の運動と様々なエネルギーについて理解を深め、科学的に探究するための観察力や思考力を身につけるようにする。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

- ①物体の運動と様々なエネルギーについて理解を深め、自分の言葉で事物・事象を説明できること
- ②期限内にレポート・視聴報告書に取り組み、その内容について成果がみられること
- ③スクーリングに参加し、課題に対して真摯に取り組む姿勢がみられること
- ④観察・実験を行う際には周囲に気を配り、目的意識をもって取り組むこと
- ⑤上記の基準をもとに3観点で総合的に評価する

・シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	力のつり合いや合成・分解について
	2	仕事と仕事率について 運動エネルギー・位置エネルギーについて
	3	視聴報告書（減免課題） 直線運動について
	4	視聴報告書（減免課題） 動摩擦力と静止摩擦力について
後	5	熱の性質や法則について
	6	波の性質や法則について
	7	視聴報告書（減免課題） 電気の性質や法則について
	8	視聴報告書（減免課題） エネルギーとその利用について

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	直線運動について
	2	力と運動の法則について
	3	力学的エネルギーについて
後	4	熱の性質や法則について
	5	波の性質や法則について
	6	電気の性質や法則について エネルギーとその利用について

・化学基礎の目標

「物質を構成する粒子とその変化について理解を深め、科学的に探究するための観察力や思考力を身につけるようにする。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

- ①物質を構成する粒子とその変化について理解を深め、自分の言葉で事物・事象を説明できること
- ②期限内にレポート・視聴報告書に取り組み、その内容について成果がみられること
- ③スクーリングに参加し、課題に対して真摯に取り組む姿勢がみられること
- ④観察・実験を行う際には周囲に気を配り、目的意識をもって取り組むこと
- ⑤上記の基準をもとに3観点で総合的に評価する

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	物質の成分と構成元素について
	2	イオンとイオン結合、分子と共有結合について
	3	視聴報告書（減免課題） 原子の構造について 電子配置と周期表について
	4	視聴報告書（減免課題） 金属と金属結合について 化学結合と物質の分類について
後	5	原子量・分子量・式量について 物質量について
	6	酸化と還元について 金属の酸化還元反応について
	7	視聴報告書（減免課題） 物質量について 溶液の濃度について
	8	視聴報告書（減免課題） 中和滴定について

・シラバス（レポート）

期	提出回数	学習内容
前	1	物質の成分と構成元素について 物質の三態について
	2	原子の構造について 電子配置と周期表について
	3	イオンとイオン結合、分子と共有結合、金属と金属結合について 化学結合と物質の分類について
後	4	物質量について 化学反応式の表す量的関係について
	5	酸と塩基について 中和反応と塩の生成について
	6	酸化と還元について 酸化還元反応について

・生物基礎の目標

「細胞の特徴や構造、生物現象について理解を深め、科学的に探究するための観察力や思考力を身につけるようにする。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

- ①細胞の特徴や構造、生物現象について理解を深め、自分の言葉で事物・事象を説明できること
- ②期限内にレポート・視聴報告書に取り組み、その内容について成果がみられること
- ③スクーリングに参加し、課題に対して真摯に取り組む姿勢がみられること
- ④観察・実験を行う際には周囲に気を配り、目的意識をもって取り組むこと
- ⑤上記の基準をもとに3観点で総合的に評価する

シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前・後	1	細胞の特徴について 細胞小器官のはたらきについて
	2	DNAの構造について DNAの複製と分配について タンパク質と遺伝情報について
	3	血糖濃度の調節について
	4	植生の遷移について 遷移とバイオームについて
	5	視聴報告書（減免課題） 生体とATPについて 呼吸と光合成について
	6	視聴報告書（減免課題） 遺伝子とそのはたらきについて
	7	視聴報告書（減免課題） 免疫のはたらきについて
	8	視聴報告書（減免課題） 生態系と生物の多様性について

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前・後	1	生物の多様性と共通性について 生物とエネルギーについて
	2	遺伝情報とDNAについて 遺伝情報とタンパク質の合成について
	3	ヒトの体を調節するしくみについて
	4	免疫のはたらきについて
	5	植生と遷移について
	6	生態系と生物の多様性について

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「地理歴史科」科の目標

「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す」

・「地理総合」の目標

「社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」
認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第3編 持続可能な地域づくりと私たち
	2	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前	1	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割
	2	第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解
	3	2節 生活文化と自然環境①地形 3節 生活文化と自然環境②気候
	4	4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境問題 2節 資源・エネルギー問題
	5	3節 人口問題 4節 食料問題 5節 居住・都市問題 6節 民族問題 7節 持続可能な社会の実現をめざして
	6	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望

・「歴史総合」の目標

「社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第4章 グローバル化と私たち
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
後	1	第1章 歴史の扉 第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い 2節 結び付く世界と日本の開国
	2	3節 国民国家と明治維新 4節 近代化と現代的な諸課題
	3	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い 2節 第一次世界大戦と大衆社会
	4	3節 経済危機と第二次世界大戦 4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題
	5	第4章 グローバル化と私たち 1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済
	6	3節 世界秩序の変容と日本 4節 現代的な諸課題の形成と展望

・「世界史B 前期」の目標

「世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	序章 地球と人類のはじまり 第1章 西アジア世界・地中海世界の形成 第2章 南アジア世界・東南アジア世界の形成 第3章 東アジア世界・内陸アジア世界の形成 第4章 イスラーム世界の形成と拡大 第5章 ヨーロッパ世界の形成と変動 第6章 内陸アジア世界と諸地域世界
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前	1	序章 地球と人類のはじまり 第1章 西アジア世界・地中海世界の形成
	2	第2章 南アジア世界・東南アジア世界の形成
	3	第3章 東アジア世界・内陸アジア世界の形成
	4	第4章 イスラーム世界の形成と拡大
	5	第5章 ヨーロッパ世界の形成と変動
	6	第6章 内陸アジア世界と諸地域世界

・「世界史B 後期」の目標

「世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解させ、文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	第7章 アジア諸地域世界の繁栄と成熟 第8章 ヨーロッパの拡大と大西洋世界 第9章 産業社会と国民国家の形成 第10章 世界市場の形成とアジア諸国 第11章 世界の分割 第12章 二つの世界大戦 第13章 戦後世界の形成と変容 終章 21世紀の課題
	2	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
後	1	第7章 アジア諸地域世界の繁栄と成熟
	2	第8章 ヨーロッパの拡大と大西洋世界
	3	第9章 産業社会と国民国家の形成
	4	第10章 世界市場の形成とアジア諸国
	5	第11章 世界の分割
	6	第12章 二つの世界大戦 第13章 戦後世界の形成と変容 終章 21世紀の課題

・「日本史B 前期」の目標

「我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開
	2	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前	1	第1章 古代国家の形成と貴族文化の誕生 1 原始社会の生活と文化 2 農耕社会の形成と大陸文化の摂取 3 律令国家の形成と古代文化の展開
	2	3 律令国家の形成と古代文化の展開 4 摂関政治と文化の和様化
	3	4 摂関政治と文化の和様化
	4	第2章 武家社会の形成と生活文化のめばえ 1 中世社会の成立
	5	2 武家社会の形成と東アジア
	6	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 1 ヨーロッパ文化との接触と国内統一 2 幕藩体制の成立

・「日本史B 後期」の目標

「我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 第5章 現代の世界と日本
	2	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
後	1	第3章 近世社会の形成と庶民文化の展開 3 近世社会の発達と町人文化 4 幕藩体制の動揺と庶民文化の発達
	2	第4章 近代国家の形成と国民文化の発展 1 開国から明治維新へ
	3	2 立憲政治の形成と国民文化 3 日本の近代化と東アジア
	4	3 日本の近代化と東アジア 4 デモクラシーと第一次世界大戦
	5	5 激動する世界と日本 第5章 現代の世界と日本 1 占領と国内改革
	6	1 占領と国内改革 2 国際社会への復帰と高度経済成長 3 石油ショックと低成長の時代 4 新しい国際秩序と日本の課題

・「地理B 前期」の目標

「現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	第1編 さまざまな地図と地理的技能 第2編 現代世界の系統地理的考察
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前	1	第1編 さまざまな地図と地理的技能 第1章 地理情報の表現方法 第2章 地図の活用と地域調査
	2	第2編 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1 世界の地形
	3	2 世界の気候 3 日本の自然環境 4 世界の環境問題
	4	第2章 産業と資源 1 産業の発展と産業地域 2 農林水産業 3 食料問題 4 エネルギーと鉱産資源
	5	5 資源・エネルギー問題 6 工業の立地と工業地域の変容 7 第三次産業と交通・通信
	6	8 消費と観光 9 貿易と経済機構 第3章 人口、都市・村落 1 人口

・「地理B 後期」の目標

「現代世界の地理的事象を系統地理的に、現代世界の諸地域を歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	第2編 現代世界の系統地理的考察 第3編 現代世界の地誌的考察
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
後	1	第3章 人口、都市・村落 2 人口問題 3 都市・村落 4 居住・都市問題
	2	第4章 生活文化、民族・宗教 1 生活文化 2 民族・言語・宗教 3 民族問題 4 現代の国家と領土問題
	3	第3編 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分 第2章 現代世界の諸地域 1 東アジア 2 東南アジア
	4	3 南アジア 4 西アジアと中央アジア 5 北アフリカとサハラ以南アフリカ
	5	6 ヨーロッパ 7 ロシア 8 アングロアメリカ
	6	9 ラテンアメリカ 10 オセアニア 第3章 現代世界と日本

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「 公民 」 科の目標

「 広い視野に立って、現代の社会について主体的に考察させ、理解を深めさせるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。 」

・ 「 倫理 」 の目標

「 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深めさせるとともに、人格の形成に努める実践的意欲を高め、他者と共に生きる主体としての自己の確立を促し、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。」

・ 評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準： レポート・スクーリング・テストによる総合評価 」

・ シラバス（スクーリング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	第1章 青年期の課題と自己形成, 第2章 人間としての自覚, 第3章 国際社会に生きる日本人の自覚, 第4章 現代を生きる人間の倫理, 第5章 現代の課題を考える
	2	視聴報告書（減免課題） 各単元より出題

・ シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前	1	第1章 青年期の課題と自己形成 第2章 人間としての自覚 1 人間とは何か 2 ギリシャの思想
	2	3 キリスト教 4 イスラーム 5 仏教 6 中国の思想 7 芸術と人間
	3	第3章 国際社会に生きる日本人の自覚
	4	第4章 現代を生きる人間の倫理 1 人間の尊厳の根拠を求めて 2 民主社会と自由を求めて 3 社会変革の倫理を求めて
	5	3 社会変革の倫理を求めて 4 新たな人間像を求めて 5 自然や科学技術と人間とのかかわり 6 民主社会の成熟のために
	6	第5章 現代の課題を考える

・「政治・経済」の目標

「広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	第1章 現代の政治 第2章 現代の経済 第3章 現代社会の諸課題
	2	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
後	1	第1章 現代の政治 1節 民主政治の基本原則 2節 日本国憲法の基本原則
	2	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題
	3	5節 現代の国際政治 第2章 現代の経済 1節 現代の資本主義経済
	4	2節 現代経済のしくみ 3節 日本経済の発展と産業構造の変化
	5	4節 福祉社会と日本経済の課題 5節 国民経済と国際経済
	6	第3章 現代社会の諸課題 1節 日本社会の諸課題 2節 国際社会の諸課題

・「公共」の目標

「人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価」

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	第1部 「公共」のとびら 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために
	2	視聴報告書（減免課題） 各单元より出題

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
後	1	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち－社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 －共に生きるための倫理
	2	第3章 公共的な空間における基本的原理 －私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち
	3	第2章 法の働きと私たち
	4	第3章 経済社会で生きる私たち
	5	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 ・ テーマ2
	6	第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3 ・ テーマ4 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「芸術」科の目標

「芸術の幅広い活動を通して、芸術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深め豊かな情操を養う」

・「美術」の目標

「美術の幅広い創造活動を通して、美術体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす」

・評価の観点と認定にあたっての基準

「(知識・技能)(思考力・判断力・表現力等)(主体的に学習に取り組む態度)の3観点とレポート・スクリーニング等を総合的に評価する」

・シラバス（スクリーニング） 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前期	1	○描画アプリibisPaintで「人を描く」 (黄金比率・骨格・バランス等、人間の体の形についての理解を深め、描画アプリibisPaintの基本を学び人を描いてみる) ○「色彩とイメージ」を描画アプリで制作 (色彩の感覚やイメージを色にたくして表す)
	2	○FlipaClip(パラパラ漫画動画)制作 (パラパラ漫画動画制作の基本を学び、動画を制作し、動画に合った効果音もつけてみる)
	3	視聴報告書(減免課題) 【アートって何?】アートを学ぶ＝人間を知ること。五感を働かせてAIには出来ない「感じる」「考える」「表現する」について改めて考える学習
	4	視聴報告書(減免課題) 【アートとジェンダー】感性豊かなイメージを創出しながら、様々な価値を追求する心の働きを高める学習

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前期	1	【歌麿模写】江戸時代の絵師歌麿の美人画を模写することで、日本美術に受け継がれてきた美意識について理解する
	2	【絵手紙】デジタルの時代だからこそ、手描きによる絵や文字で思いを伝える大切さを学ぶ
	3	【夜の月】夜空を見る・星を見る・月を見る そして描いてみる 描くことで普段見過ごしてしまっている美しい世界がそこにあることを知る

・ シラバス (スクーリング) 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後期	1	○ダ・ヴィンチ「最後の晩餐」を学ぶ (描かれた時代背景や、「最後の晩餐」は何を描いたものか等を理解し、一点透視図法による正確な立体表現、構図・色彩対比についても学ぶ) ○Keynoteアニメーション制作 (2スライドの短いアニメーションを、マジックムーブ・モーションパス等で工夫し制作する)
	2	○インテリアデザイン制作 (ibisPaint) (遠近法・色彩調和や対比について理解を深め、室内のデザインをデジタルで制作する)
	3	視聴報告書 (減免課題) 【マンガとアニメーション】身近に感じられるマンガ・アニメーションの世界を通して、発想・構想から「動き」による表現を学ぶ
	4	視聴報告書 (減免課題) 【アートとSDGs】作品を通して (自然と美術との関わり) や (生活や社会を心豊かにする美術の働き) についての理解を深める学習

・ シラバス (レポート)

期	面接回数	学習内容
後期	1	【ゴッホ自画像模写】 炎の画家ゴッホの自画像を模写することで、死後最も愛されてきたゴッホの生き様・表現に触れ、そこから学ぶ
	2	【自己を表す】 自己と真正面から向き合い、「自分とは何か？」を問いながら描くことで、新たな気づき・発見を感じ取る
	3	【灯デザイン】 身近な生活を見つめ直し、既成の物を新しい見地から捉え直し、創造的なアイデアで表現する (実現性は問わない)

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「芸術科」の目標

芸術の活動を通して、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる能力を育成することを目指す。

- ①芸術に関する書道の特質について、理解し、表現する技能を身につける。
- ②創造的な表現を工夫したり、書道の文字の美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- ③生涯を通し、芸術を愛好する心を育み、感性を高め心豊かな生活や社会性を培う。

「書道」の目標

書道の幅広い活動により、書に関する生活や社会の中の文字や書、書の伝統や文化と関わる資質・能力の育成を目指す。

- ①書の表現方法の理解と、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、表現するための技能を身に付ける。
- ②書の美しさの表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
- ③生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

「評価の観点と認定にあたっての基準」

提出された作品と、スクーリングの作品に取り組む姿勢について3観点で評価する。

また、認定の基準は、古典の特徴が理解でき、臨書出来ているという到達目標に達していれば認定する。

シラバス (スクーリング) 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学 習 内 容
前 期	1	教科書、(28～29 p) 褚遂良の雁塔聖教序について説明する。褚遂良独特の用筆である藏鋒を理解させる。唐の時代、書者である褚遂良また、表現の特徴等を理解させ「無形」の2文字を臨書する。
	2	教科書、(30～31 p) 顔真卿の自書告身について説明する。顔真卿の独特の筆法である蚕頭燕尾を理解させる。唐の時代、書者である顔真卿についての理解、表現の特徴等を理解させ「制度」の二文字を臨書する。
	3	視聴報告書 執筆法について。その2種類とは何か、その読み方も書く。また、構え方3種類は何か。漢字とその読み方を書く。漢字の成立と変遷について。漢字の5書体とは何か、古いものから順に答える。初唐に活躍した三人の書家とはだれか。漢字、読み方の両方とも答える。その3人について、簡単に説明する。
	4	視聴報告書 楷書を代表する九成宮醴泉銘と孔子廟堂碑について説明している文章に語句を書き完成させる。

シラバス (レポート)

前 期	1	教科書(6～7 p)用具・用材について設問に答える。
	2	楷書の基本的な用筆・運筆を学ぶのに最も優れている九成宮醴泉銘を臨書する。表現の特徴を理解し、「清泉」を臨書をする。(22～23 p)
	3	二回目同様、孔子廟堂碑の「大道」を臨書をする。(24～25 p)

シラバス (スクーリング) 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学 習 内 容
後 期	1	教科書、(52～58p) 空海の風信帖について説明する。三筆の一人であること。遣唐使として唐に渡り、密教や書を学んだこと。東晋の王羲之や唐の顔真卿の影響を受けたこと、また、表現の特徴等を理解させ「風信」の2文字を臨書する。
	2	教科書、(82～87p) 伝藤原行成の蓬萊切について説明する。表現の特徴の変体仮名を用いた美しさを理解し和歌一首を臨書する。
	3	視聴報告書 行書を代表する東晋の王羲之について説明している文章に適切な語句を書き完成させる。(40～48p)
	4	視聴報告書 隷書を代表する曹全碑のについて説明している文章に適切な語句を書き完成させる。(64～65p)

シラバス (レポート)

後 期	1	行書の特徴、教科書(38p)・仮名の成立、教科書(76～77p)について設問に答える。
	2	行書の臨書と言えば王羲之の蘭亭序と顔真卿の争坐位文稿が代表される。その中でも強さや大胆さ、陰しさなどを表現の特徴として、顔真卿の争坐位稿を理解し、「開国」の文字を臨書する。(50～51p)
	3	二回目同様、高野切第三種の「しらゆきのともに～」(90p)の和歌一首を臨書する。(88～91p)

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「保健体育」科の目標

体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続するための資質・能力を育成することを目指す。

・「体育Ⅰ」の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上のための資質・能力を育成することを目指す。

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」レポート・スクーリング等で総合的に評価」

・シラバス（スクーリング）教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
前	1	体づくり運動 バレーボール
	2	バレーボール
	3	視聴報告書（減免課題）体育実技編 バレーボールについて
	4	視聴報告書（減免課題）体育実技編 バレーボールについて
	5	視聴報告書（減免課題）体育編 体育編スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ

・シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
前	1	体育編 スポーツの始まりと変遷 体育編 文化としてのスポーツ 体育実技編 バレーボール

・シラバス（スクーリング）教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
後	1	体づくり運動 バスケットボール
	2	バスケットボール
	3	陸上競技
	4	陸上競技
	5	視聴報告書（減免課題）体育実技編 バスケットボールについて
	6	視聴報告書（減免課題）体育実技編 バスケットボールについて

後	7	視聴報告書（減免課題）体育編 オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果
	8	視聴報告書（減免課題）体育実技編 陸上競技について
	9	視聴報告書（減免課題）体育実技編 陸上競技について
	10	視聴報告書（減免課題）体育編 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境

・シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
後	1	体育編 オリンピックとパラリンピックの意義 体育編 スポーツが経済に及ぼす効果 体育実技編 バスケットボール
	2	体育編 スポーツの高潔さとドーピング 体育編 スポーツと環境 体育実技編 陸上競技

・「体育Ⅱ」の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上のための資質・能力を育成することを目指す。

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」レポート・スクーリング等で総合的に評価

・シラバス（スクーリング）教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
前	1	体づくり運動 卓球
	2	卓球
	3	サッカー
	4	サッカー
	5	視聴報告書（減免課題）体育実技編 卓球について
	6	視聴報告書（減免課題）体育実技編 卓球・機械運動について
	7	視聴報告書（減免課題）体育編 スポーツにおける技能と体力 スポーツにおける技術と戦術
	8	視聴報告書（減免課題）体育実技編 サッカーについて
	9	視聴報告書（減免課題）体育実技編 サッカーについて
	10	視聴報告書（減免課題）体育編 技能の上達過程と練習 効果的な動きのメカニズム 運動・スポーツと脳、動きと力

・シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
前	1	体育編 スポーツにおける技能と体力 体育編 スポーツにおける技術と戦術 体育実技編 卓球
	2	体育編 技能の上達過程と練習 体育編 効果的な動きのメカニズム 体育実技編 サッカー

・シラバス（スクーリング）教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
後	1	体づくり運動 バドミントン
	2	バドミントン

	3	視聴報告書（減免課題）体育実技編 バドミントンについて
	4	視聴報告書（減免課題）体育実技編 バドミントン・水泳について
	5	視聴報告書（減免課題）体育編 体力トレーニング 運動やスポーツでの安全の確保

・シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
後	1	体育編 体力トレーニング 体育編 運動スポーツでの安全の確保 体育実技編 バドミントン

・「体育Ⅲ」の目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体としてとらえ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上のための資質・能力を育成することを目指す。

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」レポート・スクーリング等で総合的に評価

・シラバス（スクーリング）教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
前	1	体づくり運動 ハンドボール
	2	ハンドボール
	3	視聴報告書（減免課題）体育実技編 ハンドボールについて
	4	視聴報告書（減免課題）体育実技編 ハンドボール・器械運動について
	5	視聴報告書（減免課題）体育編 生涯スポーツの見方・考え方 ライフスタイルに応じたスポーツ 自分でスポーツライフを設計してみよう

・シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
前	1	体育編 生涯スポーツの見方・考え方 体育編 ライフスタイルに応じたスポーツ 体育実技編 ハンドボール

・シラバス（スクーリング）教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
後	1	体づくり運動 ソフトボール
	2	ソフトボール
	3	視聴報告書（減免課題）体育実技編 柔道について
	4	視聴報告書（減免課題）体育実技編 柔道について
	5	視聴報告書（減免課題）体育編 スポーツを推進する取り組み 豊かなスポーツライフの創造

・シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
後	1	体育編 スポーツを推進する取り組み 体育編 豊かなスポーツライフの創造 体育実技編 柔道

・「保健」の目標

健康安全に理解を深め、健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える能力を養う。また、生涯を通じて自他の健康の保持増進や環境づくりを目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点は、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体的に学習に取り組む態度」
レポート・スクーリング・テストで総合的に評価

・前期シラバス（スクーリング） 教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
前	1	3単元 生涯を通じる健康 4単元 健康を支える健康づくり

・前期シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
前	1	3単元 生涯を通じる健康 (01ライフステージと健康～06結婚生活と健康)
	2	3単元 生涯を通じる健康 (07中高年期と健康～10健康的な職業生活) 4単元 健康を支える健康づくり (01大気汚染と健康～03環境と健康にかかわる対策)
	3	4単元 健康を支える健康づくり (04ごみの処理と上下水道の整備～11健康に関する環境づくりと社会参加)

・後期シラバス（スクーリング） 教科書「大修館」

期	面接回数	学習内容
後	1	1単元 現代社会と健康 2単元 安全な社会生活

・後期シラバス（レポート）

期	回数	学習内容
後	1	1単元 現代社会と健康 (01健康の考え方と成り立ち～08休養・睡眠と健康)
	2	1単元 現代社会と健康 (09喫煙と健康～17性感染症・エイズとその予防)
	3	1単元 現代社会と健康 (18健康に関する意思決定・行動選択～19健康に関する環境づくり) 2単元 安全な社会生活 (01事故の現状と発生要因～06心肺蘇生法)

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「家庭」科の目標

「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す」

・「家庭総合」の目標

「生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す」

・評価の観点と認定にあたっての基準

評価の観点：「知識・技能」「思考力・判断力等」「主体的に学習に取り組む態度」

認定にあたっての基準：レポート・スクーリング・テストによる総合評価

シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前	1	第6章 食生活をつくる 第7章 衣生活をつくる
	2	第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える
	3	視聴報告書（減免課題） 第6章 1 食生活の課題について考える（p104～109）の内容をまとめなさい。
	4	視聴報告書（減免課題） 第5章 共に生き、共に支える（p94～102）の内容をまとめなさい。

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前	1	第6章 食生活をつくる 1 食生活の課題を考える 2 食事と栄養・食品 3 食品の選択と安全
	2	第6章 食生活をつくる 4 生涯の健康を見通した食事計画 5 調理の基礎 6 食生活の文化と知恵 7 これからの食生活
	3	第7章 衣生活をつくる 1 被服の役割を考える 2 被服を入手する 3 被服を管理する
	4	第7章 衣生活をつくる 4 被服を作る 5 衣生活の文化と知恵 6 これからの衣生活
	5	第4章 超高齢社会を共に生きる 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢期の心身の特徴 3 高齢者の自立を支える 4 これからの超高齢社会
	6	第5章 共に生き、共に支える 1 私たちの生活と福祉 2 社会保障の考え方 3 共に生きる

・ シラバス (スクーリング) 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後	1	第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第9章 家庭経済を営む
	2	第10・11章 持続可能な生活を営む・これからの生活を創造する 第3章 子どもと共に育つ 第8章 住生活をつくる
	3	視聴報告書 (減免課題) 第2章 2家族・家庭を見つめる (p 28～35) の内容をまとめなさい。
	4	視聴報告書 (減免課題) 第3章 3子どもと係る (p 56～61) の内容をまとめなさい。

・ シラバス (レポート)

期	面接回数	学習内容
後	1	第1章 生涯を見通す 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる
	2	第2章 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会
	3	第9章 経済生活を営む 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 家計をマネジメントする 6 これからの経済生活
	4	第10・11章 持続可能な生活を営む・これからの生活を創造する 1 持続可能な社会を目指して 2 一人一人の力で社会を動かす ・ 1 生活をデザインする
	5	第3章 子どもと共に育つ 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境
	6	第6章 住生活をつくる 1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活

教科と各科目の目標と内容及び評価の観点と認定基準

「情報」科の目標

「情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う」

・「情報Ⅰ」の目標

「効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画する態度を養う」

・評価の観点と認定にあたっての基準

「評価の基準：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」

評価の仕方はレポート・演習の総合評価とする。

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前期	1	教科書P1～60 情報やメディアについて学びどのような関係性があるか理解する。そこから、情報を生かした問題解決のプロセスの構築や、情報モラルについて学び、メディアリテラシーの能力を養う。 さらに、コンピュータが行っているデジタルデータの扱いについて学び、情報を上手に活用し発信していくための方法を学ぶ。
	2	視聴報告書 教科書P1～60までの解説動画を視聴し、視聴した授業内容をしっかり理解できているか、模擬的な問題を含め、身近にある情報問題を取り上げてもらい理解を深める。

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前期	1	教科書P1～32 情報の特徴 メディアの種類や特性 問題解決の流れ グループミーティングの仕方や注意点 情報モラルや個人情報の取り扱い 著作権について など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。
	2	教科書P33～60 ネットコミュニケーションの手段の変化や特徴 デジタル世界の表現（二進法） デジタル化のメリット、デメリット 情報デザイン など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。

・ シラバス (スクーリング) 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後 期	1	教科書61～149 コンピュータとは何か、その仕組みやプログラミングについて学び、どのような命令をすれば動くのか、失敗した場合にはどのような解決策があるか授業を通して自主的に考え、実行し解決する能力を養う。 さらに、ネットワークやインターネットについて学びデータの送信や活用方法について学び、メールがなぜ届くのか、SNSはどのようにして情報を送りあっているのか理解し、安全な使い方ができるよう能力を養う。
	2	視聴報告書 教科書61～149までの解説動画を視聴し、視聴した授業内容をしっかり理解できているか、模擬的な問題を含め、身近にある情報問題を取り上げてもらい理解を深める。

・ シラバス (レポート)

期	面接回数	学習内容
後 期	1	教科書61～116 コンピュータとは何か ソフトウェアの仕組み 演算の仕組みやアルゴリズムの表現 プログラムについて ネットワークとインターネットについて 情報セキュリティ など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。
	2	教科書P117～149 アイディアの大量生産 検索のコツ データ量の見積もり 映像制作 プログラムで動きを表現 データの分析 Webニュースページ など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。

・「情報演習」の目標

「情報の各分野について総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付け、情報に関する課題を発見し、情報社会に携わるものとして合理的かつ創造的に活用する能力に加え、主体的かつ協働的に取り込む態度を養う。」

・評価の観点と認定にあたっての基準

「評価の基準：「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」

評価の仕方はレポート・演習の総合評価とする。

・シラバス（スクーリング）教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
前期	1	パソコンの主な機能について学び、タイピングの方法や、検索の効率的な仕方について学ぶ。Wordのソフトを用いて文章を作成してもらい、コンピュータに慣れてもらう。
	2	Wordのソフトを利用して、1回目に行った授業の続きで文章の作成を行い。タイピングの速度を少しでも早める。さらに、ワープロ検定でもある文書作成3級の内容を用いて、他者に送るための文章を一から作れるようになる。

・シラバス（レポート）

期	面接回数	学習内容
前期	1	教科書77~90 キーボードの配置 Wordの画面の各場所の役割 コンピュータで用いられる単語や記号 入力の方法 操作方法 ローマ字変換 など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。
	2	教科書91~120 コンピュータの記号の読み方 長い文章のローマ字変換 文字コード（表の読み取り） フォントや文字を入力する際の注意点 など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。

・ シラバス (スクーリング) 教科書「東京書籍」

期	面接回数	学習内容
後 期	1	ペーパープロトタイピングを用いて実際に自分の欲しいアプリケーションの設計を行う。1時間目には自分たちでいくつかアプリケーションを上げそのアプリケーションにある機能がどのようなものがあるかディスカッションを行い自分の設計するアプリケーションに活かして設計する。設計の構図はペーパープロトタイピングを用いて行いどこを押すとどうなるかをしっかり書き起こす。
	2	2時間目は、1時間目に作成したアプリケーションの発表会を行う。ディスカッションの方法は、ブレインストーミングを用いて行う。その中で、ほかの生徒が考えたアプリケーションのよかったところの発表を行いあい、他者とのコミュニケーションや発表の改善を行う。

・ シラバス (レポート)

期	面接回数	学習内容
後 期	1	教科書P105～130 ワードについて クリップアートについて ワードアート 図形描写 スマートアート 段組み ドロップキャップ ページ罫線 など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。
	2	教科書P130～ ワードについて 文書作成の方法 提示した文章の作成 など 上記の内容を含む設問に取り組ませ知識を深める。